

Master Pit が「2015年度 グッドデザイン賞」を受賞

株式会社日本マイクロシステムの MasterPit が、このたび 2015 年度グッドデザイン賞(主催：公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。Master Pit は使いやすさと安全性を追求しながら生活シーンに調和するデザインに取り組んだ結果、特に「筐体開口部内側の面取りによる作業空間の拡大など、作業者の作業性・安全性に対する配慮もなされ、それが造形的特徴としても活かされており、総合的に優れたデザインである」として高く評価されました。この受賞にあたっては、(地独)鳥取県産業技術センターデザイン科から、デザインプロデュースの面で支援を受けました。 当社では今回の受賞を契機に Master Pit の販売拡大を図るとともに、ものづくりにおけるデザインの活用を積極的に推進し、ブランドイメージの向上に務めてまいります。

□製品名称：Master Pit

□製品概要： 多数のピンを基板部に接触させ、基板に実装された個々の部品の特性を微小電力で検査する基板検査機。検査の際、ピンを基板部に接触させる動力は、これまで空気圧によるプレス方式が主流であったが、新たに電動プレス方式の機構を開発。コンプレッサーやエア配管が不要となり、騒音の低減や省電力化、省スペース化等を実現した。

□デザイナー： 株式会社コボ 常務取締役 熊澤雅紀

□デザイナーコメント：人の作業が必至となる独立型の場合、従来の製品で採用していた両手による起動スイッチに加え人感センサーで高い安全性を確保した。また、検査基板をセットする作業エリアは、作業空間を広げる工夫として、筐体開口部の内側を面取りし、筐体の造形に活かした。一方、自動検査ライン型への展開も見据え、筐体の外観イメージはこれらが両立できるシンプルな造形を目指した。

□グッドデザイン賞審査委員による評価コメント

本製品は、多数のピンを基板部に接触させて、基板に実装された個々の部品の特性を微小電力で検査する検査機である。

ピンを基板に接触させる動力は、従来は空気圧が主流であったのに対し、本製品では電動方式の機構を開発、導入している。それによってコンプレッサーやエア配管が不要となり、騒音の低減、省電力化、省スペース化、設置場所や配置の制限の緩和など、多くのメリットをもたらしている。

□グッドデザイン賞ウェブサイトでの紹介ページ：<http://www.jpms.co.jp/>

グッドデザイン賞受賞展「グッドデザインエキシビション 2015 (G展)」に出展

本年10月30日(金)から東京ミッドタウンで開催される、最新のグッドデザイン全件が集まる受賞展「グッドデザインエキシビション 2015(G展)」会場で、Master Pit が本年度受賞デザインとして紹介されます。

[グッドデザインエキシビション 2015 (G展)] 会期：10月30日(金)～11月4日(火)
会場：東京ミッドタウン(東京都港区六本木) <http://www.g-mark.org/meeting>

 **GOOD DESIGN AWARD**
2015年度受賞



グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。これまで59年にわたり、デザインを通じて日本の産業や生活文化を向上させる運動として展開され、のべ受賞件数は40,000件以上にのぼります。今日では国内外の多くの企業や団体などが参加する世界的なデザイン賞で、グッドデザイン賞受賞のシンボルである「Gマーク」は、すぐれたデザインを示すシンボルとして広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>



※Master Pit の写真データを用意しています。下記お問い合わせ先までご請求ください。

このプレスリリースに関するお問い合わせ先
(株)日本マイクロシステム 広報担当：齊鹿 TEL：0859-27-1887 E-mail：j-micro@jpms.co.jp